

2011年 みえ不登校フォーラム 11月26日 アンケート

参加者数	118	
アンケート回答数	63	53.4%

1 本日のフォーラムについて、どのようにしてお知りになりましたか？（複数回答あり）

ネットワークチラシ	15	23.4%
フォーラムチラシ	14	21.9%
ポスター	0	0.0%
ダイレクトメール	7	10.9%
ホームページ	5	7.8%
新聞	10	15.6%
その他	13	20.3%
計	64	100.0%

その他

Drの紹介、メール、友人の誘い、三重シューレのHP、  
友人の薦め、関係機関、校内の回覧、ラジオ

2 どのようなお立場でご参加されましたか？（複数回答あり）

保護者・身内	32	50.8%	保護者30名 身内2名
教育関係	12	19.0%	小学4名 中学4名 高校2名 特別支援1名 人権教育指導員1名
当事者・元当事者	2	3.2%	当事者1名 元当事者1名
医療機関	3	4.8%	精神科医1名 小児科医1名 言語聴覚士1名
相談関係	3	4.8%	スクールカウンセラー1名 中学相談員1名 民生員1名
行政機関・関係機関	6	9.5%	行政4名、関係機関2名
研究者	1	1.6%	
記入なし	4	6.3%	
計	63	100.0%	

3 本日のフォーラムについて、どうお感じになりましたか？

よかった	53	84.1%
ふつう	9	14.3%
よくなかった	0	0.0%
記入なし	1	1.6%
計	63	100.0%

#### 4 本日のフォーラムについて、何かご感想があればご記入ください。

- ・体験者の話が聞けてよかった。7名
- ・当事者の気持ち、支援する側の姿勢を知ることができて良かった。2名
- ・当事者の方々の話は非常に興味深く、具体的な内容にふみこんだ話でとても参考になった。9名
- ・多様な立場の意見が聞けてよかった。7名
- ・親の立場からの体験談も聞きたい。
- ・学校と離れた場所での子どもたちの過ごし方の一例を見ることができて良かった。
- ・4つの場所のそれぞれの特徴がよくわかった。2名
- ・不登校を経験した人のその当時の気持ち・思いを聴くことができてよかった。
- ・フリースクール・適応指導教室に行けない人は、どう支援するのが課題。2名
- ・うまく適応できなかったケースなどはどうなるのかと考えてしまった。
- ・自分自身が学校という立場でどのような関り方ができるかを考える機会になった。2名
- ・居場所の大切さが良くわかった。3名
- ・質問タイムがほしかった。3名
- ・アドバイスがほしかった。
- ・三重県にも子どもたちのことを本気で考えて行動をおこしている方がたくさんいることが分かった。
- ・不登校の問題について改めて考えた。
- ・大人としての責任を感じる。
- ・青少年の問題について視野を広く持つ必要性をかんじた。今までは、法による解決が一番だと思っていた。
- ・人とのつながり・社会とのつながりの必要性和重要性を再認識した。2名
- ・あせらず『待つ』ことの大切さを実感し、保護者として励みになった。2名
- ・不登校の具体的なところは、当事者(子ども)だけでは十分に説明できない。
- ・不登校のきっかけが、親の存在に左右されるところもあるのだと思った。
- ・一定の価値観をもたず、子どもの心によりそえるようにしていきたい。
- ・フリースクールの存在を忘れてよかった。

#### 5 次回からのフォーラムで、希望される内容があれば記入ください。

- ・不登校の家族の方の話6名
- ・保護者・担当教諭が不登校になった時どんな対応をしたか。
- ・家族はどのように接していくべきか等のアドバイス。2名
- ・不登校体験後、成人してからどう過ごしているのか。
- ・質問タイム3名
- ・(質問タイムについて)第一部で紙に質問を書き、答えやすい内容のみ2部でこたえる形はどうか。
- ・当事者・保護者・支援者がどうやってつながっていくか分かるような内容。
- ・フリースクールや適応指導教室に行けない人をどうするのか。
- ・当事者の体験談の機会は続けてほしい。(もっと聞きたい)5名
- ・いすだけでなく机があるといい。
- ・子どもたちの変わり目を詳しく聞きたい。
- ・他のフリースクールも紹介してほしい。2名
- ・支援する側・される側のワクをはずした内容
- ・高垣忠一郎さんの講演
- ・様々な選択ができる社会へどのように変えていくべきか。
- ・心身上の悩みがあるときの支援機関や就労を考えるときの支援機関が加わったフォーラム

6 「みえ不登校支援ネットワーク」について、これからどのようなことを期待されますか？  
また、どのようなことを行ってほしいと思われませんか？

- ・親も知識をみにつける場所がほしい。
- ・今後も子どもや保護者の支えになってほしい。(子どもや親が気軽に通えるような場所作り)4名
- ・当事者の声を聞くことを大事に。
- ・交流会をひらいてほしい。
- ・支援団体の交流会
- ・医療と学校の連携
- ・当事者や保護者が罪悪感にさいなまれなくてよい社会の実現
- ・情報発信(公共の施設にも情報を提供してくれる場所を作ってほしい。)4名
- ・学校からこのようなネットワークがあることを教えてもらえるように、学校への指導。2名
- ・メディアの利用
- ・情報提供などを目的とするメーリングリスト
- ・簡単な情報交換ツール
- ・義務教育の学校のあり方、不登校児をださないように学校に期待されることを教えてほしい。
- ・このような会の開催3名
- ・長く続く基盤をそれぞれが持つこと

7 他にも何かメッセージなどがございましたらご記入ください。

- ・フリースクール等にも行けない場合の家での対応の仕方をおしえてほしい。
- ・今日学んだことを活かしていきたい。3名
- ・これからも子どもや保護者の支えになってほしい。3名
- ・参加者の発言も必要
- ・机がなく、メモを取るのに苦労したので、次回は机がほしい。
- ・色々な選択肢があることをもっと示して行ってほしい。
- ・次回は他の悩んでいる人にも声をかけて来たい。
- ・フリースクールがもっと増えるようにご助力おねがいします。
- ・不安な先のみえない気持ちが楽になった。
- ・また来年参加します。
- ・子どもに今よりも少し近づけるきっかけとなった。2名
- ・これからも続けてほしい
- ・学校の先生に対する指導の充実をお願いしたい。